

# ASUKA REPORT

2011年度半期ディスクロージャー  
2011年4月1日～9月30日

夢、そして未来へ・・・  
あなたの明日を応援します。



あすか信用組合

## ごあいさつ

皆さまには、日頃より格別のご愛顧、お引き立てを賜り、心からお礼を申し上げます。

また、先般の大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

さて、このたび平成23年度の半期ディスクロージャー誌を作成いたしましたので、ご高覧賜り、皆さま方のあすか信用組合へのご理解をより一層深めていただければ幸いに存じます。

今後とも、役職員一同一丸となって邁進していく所存でありますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

理事長 金 哲 也

## 預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

	平成22年9月期	平成23年3月期	平成23年9月期	前期末対比
預金残高	185,422	192,060	190,116	▲1,943
貸出金残高	123,381	120,735	118,780	▲1,954

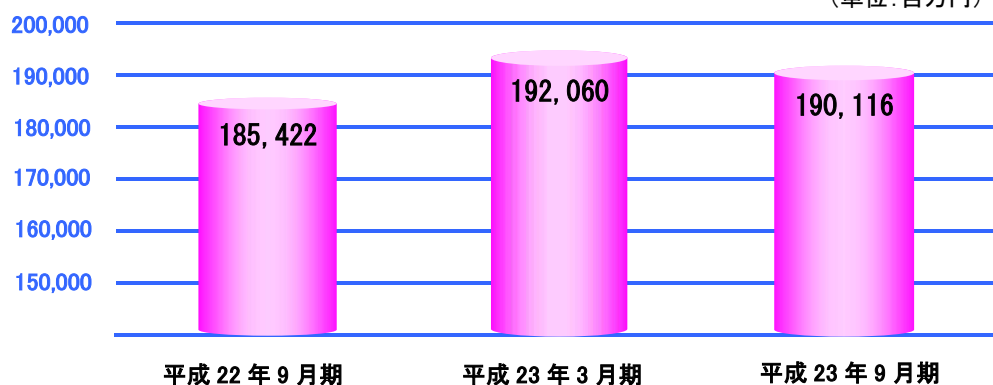
### ◆ 預金残高の推移

流動性預金は個人・法人のお客様ともに増加しましたが、定期性預金については各定期預金の利率を引き下げた影響により減少したことから、預金残高は平成23年3月期に比べ1,943百万円減少した190,116百万円となりました。

《主な預金商品》

- 特別金利定期預金 : 「あすか」、「あおば」
- 懸賞金付定期預金 : 「Wチャンス」
- 満期日自由の定期預金 : 「いつでも満期」
- シルバーエイジの強い味方 : 「シルバー定期」
- 60歳以上の組合員限定 : 「プラチナ定期」
- 東日本大震災復興支援定期 : 「希望」

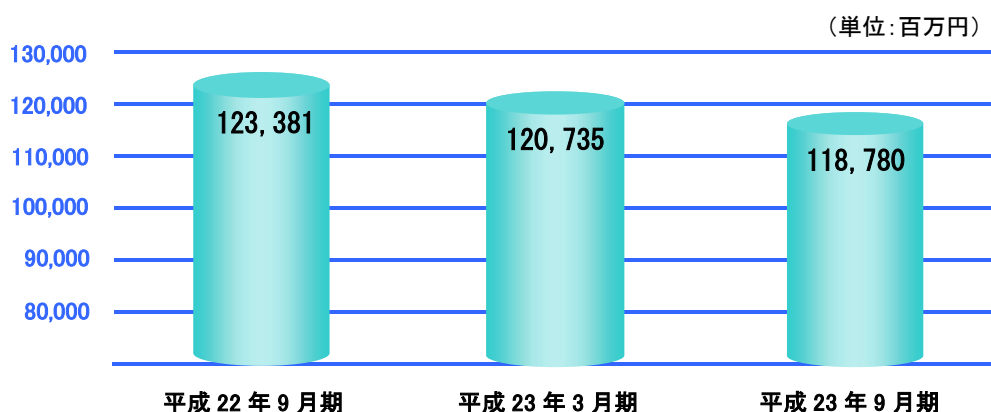
(単位:百万円)



### ◆ 貸出金残高の推移

前年度下半期より、総じてお取引先の資金需要が弱まっていることから、貸出金残高は平成23年3月期に比べ1,954百万円減少した118,780百万円となりました。

今後も引き続き、地域社会の発展のために皆様の資金ニーズに積極的にお応えしていきます。



### 業務粗利益、業務純益の推移

(単位:千円)

	平成22年9月期	平成23年3月期	平成23年9月期
業務粗利益	1,956,009	3,837,933	1,968,923
業務純益	670,979	1,335,403	676,160
コア業務純益	645,992	1,228,097	663,522

#### ◆ 業務粗利益とは…

預貸金等の利息差益である「資金運用収支」や各種手数料等による「役務取引等収支」、国債等債券の売買等による「その他業務収支」を合計した利益です。

#### ◆ 業務純益とは…

一般の企業でいう営業利益に相当する概念で、金融機関が本業でどれだけ収益をあげたのかを表す金融機関固有の収益指標です。

#### ◆ コア業務純益とは…

業務純益のうち一般貸倒引当金繰入や債券売買損益等を除いたもので、金融機関としての実質的な収益力を表す指標です。

## 自己資本比率

### ◆ 自己資本の構成に関する事項

(単位:千円)

項 目	平成 22 年 9 月期	平成 23 年 3 月期	平成 23 年 9 月期
出 資 金	4, 238, 540	4, 215, 073	4, 296, 848
利 益 準 備 金	920, 000	950, 000	950, 000
特 別 積 立 金	1, 650, 000	1, 800, 000	1, 800, 000
次 期 繰 越 金	177, 168	76, 360	93, 329
<b>基 本 的 項 目 ( A )</b>	<b>6, 985, 708</b>	<b>7, 041, 433</b>	<b>7, 140, 177</b>
土地の再評価額と再評価の直前の帳簿価額の差額の45%相当額	12, 934	—	—
一 般 貸 倒 引 当 金	658, 925	576, 606	563, 968
負 債 性 資 本 調 達 手 段 等 ( 期 限 付 劣 後 ロ ー ン )	450, 000	300, 000	150, 000
補完的項目不算入額(△)	—	—	—
<b>補 完 的 項 目 ( B )</b>	<b>1, 121, 859</b>	<b>876, 606</b>	<b>713, 968</b>
<b>自己資本総額(A)+(B)=(C)</b>	<b>8, 107, 567</b>	<b>7, 918, 039</b>	<b>7, 854, 146</b>
控 除 項 目 ( D )	—	—	—
<b>自己資本額(C)-(D)=(E)</b>	<b>8, 107, 567</b>	<b>7, 918, 039</b>	<b>7, 854, 146</b>
資 産 ( オ ン ・ バ ラ ン ス ) 項 目	142, 483, 879	118, 810, 202	124, 512, 987
オ フ ・ バ ラ ン ス 取 引 等 項 目	925, 276	824, 147	760, 054
オペレーショナル・リスク相当額を8%で除して得た額	7, 090, 039	7, 230, 407	7, 230, 407
<b>リ ス ク ・ ア セ ッ ト 等 計 ( F )</b>	<b>150, 499, 195</b>	<b>126, 864, 757</b>	<b>132, 503, 449</b>
<b>自己資本比率(E)÷(F)</b>	<b>5.38%</b>	<b>6.24%</b>	<b>5.92%</b>

※平成 21 年 3 月期より 24 年 3 月期決算までの間、自己資本比率算出においては「その他有価証券の評価差損」を自己資本(基本的項目)から控除しない取扱いとする特例措置(平成 20 年金融庁告示第 79 号)に基づき算出しております。

### ◆当組合の自己資本比率の主なポイント

◆基本的項目(A)は、出資金の増加ならびに利益金の積上げによる内部留保の強化を図り、自己資本の充実に努めております。

尚、当組合は自己資本に繰延税金資産は計上しておりません。

◆補完的項目(B)のうち、期限付劣後ローン 1,500 百万円については、償還まで5年以内になると年 20%の割合が自己資本に算入できないため、平成 19 年 9 月期より半期ごとに 150 百万円を減額し計上しております。

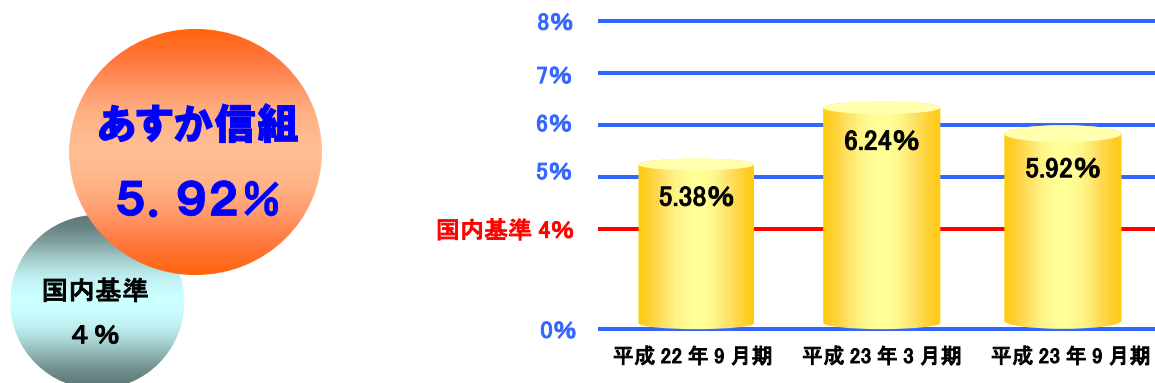
◆自己資本比率は、リスク・アセット(資産)の増加によっても低下いたします。

当組合においては、平成 23 年 3 月期に比べ預け金の運用資産が増加し、リスク・アセットが増加しているため、自己資本比率は低下しております。

## 自己資本比率

### ◆ 自己資本比率とは…

リスク資産(貸出金など)に対する自己資本(出資金や内部留保など)の割合で、金融機関の経営の健全性を示す重要な指標の一つです。国内で営業している金融機関には国内基準が適用され、基準に満たない場合は金融当局よりその水準に応じて、下記表のとおり早期是正措置(業務改善や業務停止命令)が発動されます。



$$\text{自己資本比率} = \frac{\text{自己資本額( 7,854 百万円)}}{\text{※リスク資産額(132,503 百万円)}} \times 100 = 5.92\%$$

※資産の内容ごとに信用リスクの度合いが考慮されます。

当組合の自己資本比率は上記のとおり 5.92%と、国内基準である 4%を上回っており、経営の健全性・安全性を十分に保っております。

### ◆早期是正措置の概要

自己資本比率		是正措置の内容
国際基準 (海外業務を行う金融機関)	国内基準 (国内業務のみ行う金融機関)	
8%以上	4%以上	経営体質が健全であり問題のない金融機関
4%以上8%未満	2%以上4%未満	経営改善計画の提出・実施命令
2%以上4%未満	1%以上2%未満	資本増強計画の提出・実施、総資産の圧縮等
0%以上2%未満	0%以上1%未満	自己資本の充実、大幅な業務の縮小等の実施命令
0%未満	0%未満	業務の全部又は一部の停止命令

## 不良債権の状況

### ◆ 金融再生法開示債権の残高推移

(単位:百万円)

	22年9月末	23年3月末	23年9月末	増 減	
	①	②	③	③-②	③-①
破産更生等債権	6,591	5,222	4,861	△361	△1,730
危険債権	5,410	7,388	7,314	△73	1,904
要管理債権	1,672	953	921	△31	△751
不良債権計	13,674	13,564	13,096	△467	△578
正常債権	110,870	108,233	106,670	△1,562	△4,199
合計	124,545	121,797	119,767	△2,029	△4,777
不良債権比率	10.98%	11.14%	10.94%	△0.20%	△0.04%
※実質不良債権比率	8.24%	8.90%	8.12%	△0.78%	△0.12%

※実質不良債権比率……総与信合計額(分母)、不良債権額(分子)から個別貸倒引当金を控除し算定しております。

平成23年9月末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定するカテゴリーにより分類し、以下の方法により算出しております。

上記開示債権算出の前提となる自己査定上の債務者区分については、平成23年3月末時点における自己査定による債務者区分を基準に、4月から9月末までに倒産、不渡り等の客観的事象並びに業況の悪化等の事象が発生した先について債務者区分を見直しております。

- (注)1. 「破産更生等債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」(元本又は利息の支払が、約定支払日の翌日から3ヵ月以上延滞している貸出金)、「貸出条件緩和債権」(債務者の経営再建等を図ることを目的として、金利の減免、利息の支払猶予、元本の返済猶予、債権放棄その他の債務者に有利となる取決めを行った貸出金)です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権で、「破産更生等債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。

総与信額に占める開示額の割合(不良債権比率)は、平成23年3月末対比0.20ポイント改善、平成22年9月末対比0.04ポイント改善した10.94%となっております。

なお、平成23年9月末における実質的な不良債権比率は8.12%となっており、資産内容の健全性を着実に向上させるべく引き続き不良債権の処理を促進してまいります。

◆ 金融再生法開示債権の保全状況(平成 23 年 9 月末)

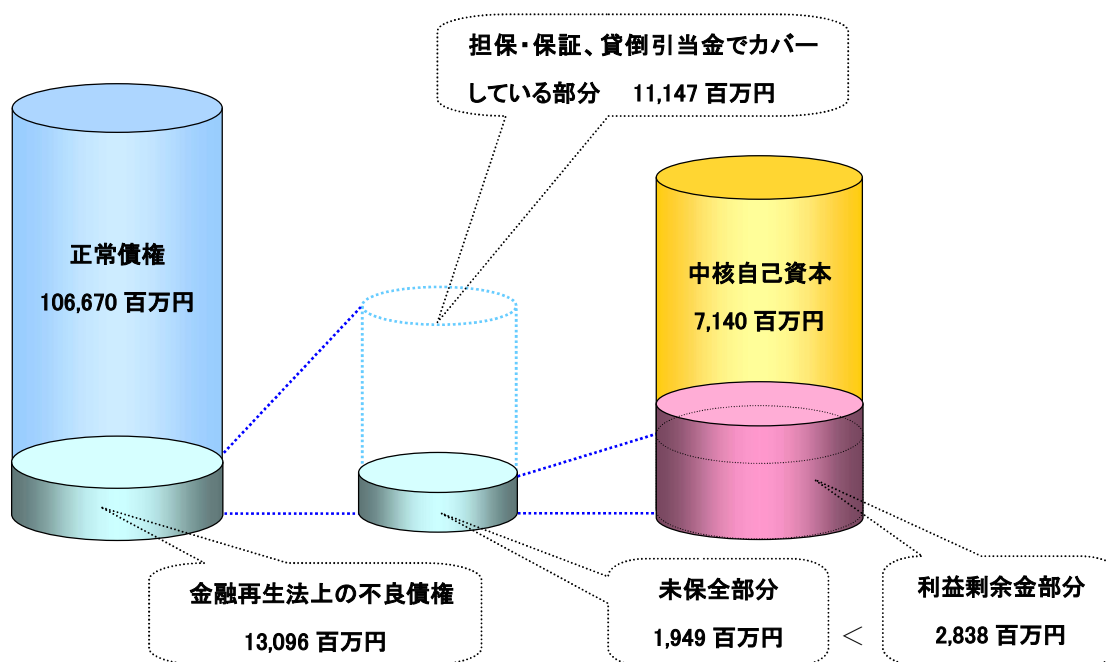
(単位:百万円)

	債権額	保全等カバー額	カバー率		
			貸倒引当金	担保・保証等	
破産更生等債権	4,861	4,861	2,451	2,410	100.00%
危険債権	7,314	5,821	1,222	4,598	79.58%
要管理債権	921	465	43	421	50.49%
合計	13,096	11,147	3,716	7,430	85.11%

(注)1. 「貸倒引当金」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

2. 「担保・保証等」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。

金融再生法開示債権と当組合自己資本の比較



金融再生法上の不良債権は 13,096 百万円ですが、このうち 7,430 百万円が担保や保証でカバーされており、また 3,716 百万円の貸倒引当金を計上していることから、不良債権に対する**保全率は 85.11%**となっております。

上記の金融再生法上の不良債権における未保全部分は 1,949 百万円ですが、平成 23 年 9 月期における中核自己資本 7,140 百万円(自己資本比率算出上の基本的項目)の十分な範囲内であり、また、出資金等を除いた利益剰余金 2,838 百万円の範囲内となっていることから、経営の健全性は確保されております。

## その他の経営情報

### ◆貸借対照表

#### <資産の部>

(単位:千円)

	平成 22 年 9 月末	平成 23 年 3 月末	平成 23 年 9 月末
現金	2,442,350	2,939,397	2,096,057
預け金	72,459,327	39,514,551	75,188,505
買入金銭債権	—	—	—
コールローン	—	—	5,000,000
有価証券	917,169	42,227,984	3,134,914
貸出金	123,381,522	120,735,200	118,780,974
その他資産	856,593	812,068	855,469
有形固定資産	3,185,770	3,054,776	3,034,424
無形固定資産	12,702	13,462	18,002
繰延税金資産	5,902	—	—
再評価に係る繰延税金資産	—	—	—
債務保証見返	1,078,452	973,814	900,849
貸倒引当金	△4,381,340	△3,567,339	△4,237,779
(うち個別貸倒引当金)	(△3,722,415)	(△2,990,733)	(△3,673,811)
<b>資産の部合計</b>	<b>199,958,451</b>	<b>206,703,916</b>	<b>204,771,419</b>

#### <負債及び純資産の部>

(単位:千円)

	平成 22 年 9 月末	平成 23 年 3 月末	平成 23 年 9 月末
預金積金	185,422,740	192,060,300	190,116,787
借入金	4,315,000	4,315,000	4,315,000
その他負債	1,842,213	1,981,245	1,992,029
賞与引当金	156,376	140,447	157,901
退職給付引当金	141,581	154,080	145,907
睡眠預金払戻損失引当金	579	1,867	1,867
偶発損失引当金	193	160	5,737
繰延税金負債	—	—	—
再評価に係る繰延税金負債	8,927	—	—
債務保証	1,078,452	973,814	900,849
<b>負債の部合計</b>	<b>192,966,065</b>	<b>199,626,916</b>	<b>197,636,079</b>
<b>純資産の部合計</b>	<b>6,992,386</b>	<b>7,076,999</b>	<b>7,135,339</b>
<b>負債及び純資産の部合計</b>	<b>199,958,451</b>	<b>206,703,916</b>	<b>204,771,419</b>

## その他の経営情報

### ◆損益計算書

(単位:千円)

	平成 22 年 4 月 1 日から 平成 22 年 9 月 30 日迄	平成 23 年 4 月 1 日から 平成 23 年 9 月 30 日迄	前年同期比
経常収益	2,644,784	2,530,442	▲114,341
資金運用収益	2,553,590	2,458,016	▲95,574
役務取引等収益	86,733	70,840	▲15,892
その他業務収益	2,715	1,331	▲1,383
その他経常収益	1,745	253	▲1,492
経常費用	2,321,515	2,553,754	232,239
資金調達費用	680,020	553,914	△126,105
役務取引等費用	7,008	7,350	342
その他業務費用	—	0	0
経費	1,310,017	1,305,400	△4,616
その他経常費用	324,469	687,087	362,618
経常利益	323,269	▲23,311	▲346,581
特別利益	3,082	396,253	393,171
特別損失	178	2,330	2,151
税引前当期純利益	326,172	370,612	44,439
法人税、住民税及び事業税	211,217	353,643	142,425
法人税等調整額	—	—	—
法人税等合計	211,217	353,643	142,425
当期純利益	114,955	16,969	▲97,986
前期繰越金	62,213	76,360	14,147
当期末処分剰余金	177,168	93,329	▲83,838

## 地域貢献について

### ◆ 預金・融資を通じた地域貢献

#### <業種別貸出残高の推移>

(単位:先、百万円)

業種別	平成 22 年 9 月末		平成 23 年 9 月末	
	貸出先数	金額	貸出先数	金額
製 造 業	14	809	13	798
農 業、林 業	—	—	—	—
漁 業	—	—	—	—
鉱 業、採石業、砂利採取業	—	—	—	—
建 設 業	16	1,458	13	1,380
電気、ガス、熱供給、水道業	—	—	—	—
情 報 通 信 業	—	—	—	—
運 輸 業、郵 便 業	1	0	1	20
卸 売 業、小 売 業	52	3,069	54	2,389
金 融 業、保 険 業	10	3,180	8	2,858
不 動 産 業	195	46,035	213	50,007
物 品 賃 貸 業	2	4	2	3
学術研究、専門・技術サービス業	—	—	—	—
宿 泊 業	64	21,534	75	21,259
飲 食 業	57	1,585	54	1,479
生活関連サービス業、娯楽業	112	31,470	99	27,102
教 育、学 習 支 援 業	1	23	1	22
医 療、福 祉	4	27	3	14
そ の 他 の サ ー ビ ス	51	6,363	50	4,669
そ の 他 の 産 業	—	—	—	—
小 計	579	115,563	586	112,006
個 人	394	7,818	339	6,774
合 計	973	123,381	925	118,780

<地域別預金・貸出金の状況>

(単位:百万円)

地 域	平成 23 年 9 月末預金残高		平成 23 年 9 月末貸出金残高	
	金 額	構成比	金 額	構成比
東 京 都	119,902	63.07%	91,434	76.98%
埼 玉 県	17,953	9.44%	3,098	2.61%
宮 城 県	7,602	4.00%	6,644	5.59%
北 海 道	21,271	11.19%	3,701	3.12%
青 森 県	7,676	4.04%	3,087	2.60%
秋 田 県	3,559	1.87%	752	0.63%
岩 手 県	5,418	2.85%	993	0.84%
福 島 県	6,732	3.54%	9,068	7.63%
合 計	190,116	100.00%	118,780	100.00%

有価証券の時価情報

◆ その他有価証券

(単位:百万円)

項 目	取得原価	貸借対照表価額	評価損益
国 債	—	—	—
地 方 債	2	2	0
社 債	—	—	—
株 式	32	32	—
外 国 証 券	3,105	3,100	▲4
合 計	3,139	3,134	▲4

(注)平成 23 年 9 月末の時価は、月末日の市場価格等で算出しております。

(注)売買目的有価証券、満期保有目的有価証券、子会社・関連会社株式は保有しておりません。

当組合では、証券化商品やリスクの高い商品は一切保有しておりません。

当組合のホームページにアクセスいただければ、当組合の経営理念・方針、沿革、各種商品のご案内、経営内容等について、様々な情報がご覧いただけます。

<http://www.asuka-c.jp>